

# UT/400-D2C

Company Info 株式会社アイエテクノポート

URL <http://www.istechnoport.co.jp/>

## IBM iのDBから 簡単操作でCSV ファイルを抽出

### 単体での運用もUT/400 ファミリーとの連携も可能

「UT/400-D2C」は、IBM iのデータベース (DB2 for IBM i、DB2/400) から、直接CSVデータを抽出するためのツールである。

とくに設定作業などは不要で、導入後すぐに、DB2/400からCSVの抽出が行える。ノンプログラミングで、メニュー操作が基本。画面は、Query/400と高い親和性があるので、Query/400を使い慣れたユーザーであれば、違和感なく操作できそう。

UT/400-D2Cの主な機能は、以下のとおりである。

#### ○複数ファイルの結合

CSV変換を実行するファイルに最大3ファイルまで紐づけて結合可能。

#### ○サマリー機能

フィールド選択によるサマリー機能を搭載。合計・カウント・最大・最小・平均値の計算機能を使用。

#### ○出力フィールドの選択

CSVを抽出するフィールドの選択、フィールドの並び順の変更が可能。CSVのカラムヘディング (フィールド名) を自由に設定できる。

#### ○選択条件機能

CSVに出力するデータをフィールドごとに条件づけできる。

#### ○出力順の選択

CSVのレコード順序を選択できる。

#### ○プレビュー機能

CSV出力内容の結果をオンライン画面で確認できる。

#### ○CLへの組み込み

コマンドの提供により、CL等に組み込んで運用できる。

アイエテクノポートではUT/400-D2Cを単体で導入し、CSVファイルを



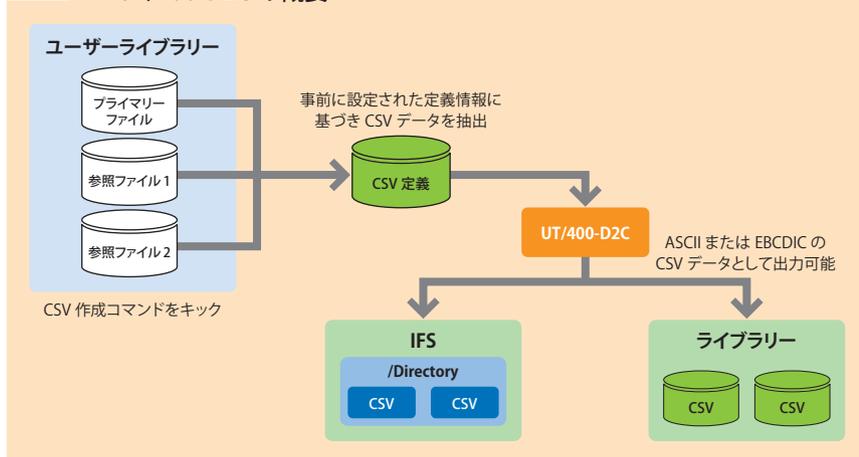
画面 CSVの抽出画像

Excelへ表示させるといった運用を想定しているほか、UT/400ファミリー製品との連携による付加価値の高い運用方法も提案している。

例えばスプールファイルからPDFを変換・作成するツールである「UT/400-iPDC」と連携すれば、スプールファイルを経由することなく、DB/400からダイレクトに抽出したCSVをPDF化することができる。またUT/400ファミリーのオプション製品である「メール配信オプション」や「サーバー転送オプション」と連携すれば、抽出したCSVファイルをメールに添付して配信したり、他サーバーのデータベースへ転送するといった使い方が可能になる。

同社の提供する全ファミリー製品と同様、処理は全てIBM i上で完結し、Windowsサーバーの導入は不要なので、コスト削減や運用管理業務の低減を実現した導入が図れそう。

図表 UT/400-D2Cの概要



### Product Information

- 発売：2010年4月
- 価格：88万円